

# 桃五図書館



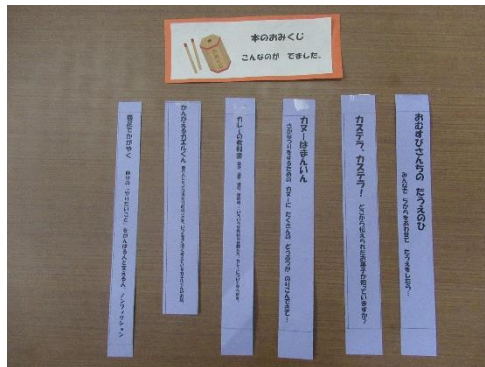
桃五小の図書館は、主に「調べ学習」や「読書活動」で活用されています。

調べ学習は、どの学年、どの学習でも行うことがあります。その際、子供たちが図書館にある図書資料の中から自分の調べたいテーマに応じた本を探す場合もありますし、司書の先生が事前に図書資料を選定して、その中から選ぶ場合もあります。今年度から一人1台タブレットを持っていますので、図書資料とインターネットを組み合わせて調べている子もいます。子供たちは調べ学習を通して、学びを広げたり深めたりしています。

読書活動は一人一人が本を読むのはもちろん、各学年、読み聞かせやおすすめの本紹介、本の帯づくり、ポップ作りなど本の世界に親しんだり広げたりする活動を工夫して行っています。学校全体では学期に1回、読書週間を設けています。各学期、パワーアップタイムに全校で一斉に本を読んだり、いろいろな本に興味をもってもらえるような取り組みをしたりしています。では、3学期に行った取り組みを紹介します。

- ① 図書委員が「読書集会」で本の紹介をしました。低学年向き、中学年向き、高学年向きとそれぞれ季節に合わせたテーマを設定し、本を厳選しました。そして、桃五小の子供たちが興味をもってくれるよう、お話の内容についてのクイズを出すなど工夫して発表しました。
- ② 2月4日（金）のパワーアップタイムに、担任の先生や専科の先生をシャッフルして読み聞かせをする「シャッフル読み聞かせ」を行いました。普段、あまり関わることのない桃五小の先生からの読み聞かせは新鮮で、子供たちは真剣に、ときに楽しんでお話を聞いていました。
- ③ 「本のおみくじ」をしました。おみくじを引き、そこに書かれている本を借りて読むことができます。普段なかなか手に取らない本を読むきっかけとなりました。

様々な取り組みの中で、子供たちは新たな本と出会い、豊かな読書活動につながっています。



## ◎すくすくももごっこ◎

桃五小では、「特別支援教育」を、『特別』なことではなく「すべての子供に必要なこと」という考え方で、『教育支援』と呼び、子供たちの様子について話し合い、全教職員で子供たちの様子を把握し対応するようにしています。

また、特別支援教室「ももご教室」では、学習や人との関わりに困っている子どもたちが、巡回指導の先生方と、少人数のグループ学習の中で、気持ちのコントロールの方法やコミュニケーションスキルなどを学習しています。

来年度も、一人ひとりに合った学習方法や支援を行い、全ての子供が「学ぶ喜びや人とかかわる楽しさ」を知り、楽しく、そしてたくましく世の中を生きていける子どもを育てる取り組みを続けていきます。お気付きの点や相談したいことがありましたら、遠慮なくお声をかけてください。